

平成 30 年度 大阪市立大学医学部 卒業謝恩会あいさつ

同窓会会長 生野弘道

平成 30 年 3 月 22 日 リッツカールトンホテル

医学部同窓会の会長をしています 15 期の生野弘道です。同窓会を代表し、67 期生の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

大阪市立大学医学部の前身である大阪市立医学専門学校の創設から 74 年になります。卒業生は約 5,000 名となり、大阪を中心に全国で活躍しています。その評判はよく、皆様が本学の卒業生であることを誇りにしていただいても結構です。

今年の 2 月、大阪市立大学は府立大学との統合が決まり、2022 年に新大学が誕生することになりました。学生数は 1 万 6 千人となり、我が国の公立大学では最大の規模となります。府立大学には医学部がなく、現在の市大の医学部が継続していく形となりますが、これからは大きな総合大学の医学部として、成長していかねばなりません。おそらく皆様は新大学の医学部の重要な人材であり、その期待も大きいものです。前途は洋々たるもので、向かう先には多くの人々が待っています。しかし、母校の研究・教育分野の道を歩むことを第一とし、大阪の地域医療にも貢献する道も念頭において欲しいと思います

いま、大阪は賑わっています。人口 880 万人の大阪に年間 1,000 万人の観光客が訪れ、大阪城、ハルカス、梅田スカイビルなど高いところが人気となっています。食べ物ではたこ焼き、お好み焼きが有名ですが、ラーメン、カレーライスの人気も高いそうです。2019 年には「G20 サミット首脳会談」がインテックス大阪で開催することが決まりました。ホテルなどが充実し、安全も高まったようです。また「ラグビー・ワールドカップ 2019」のチケット発売が始まり、東大阪はもうすでに燃えています。この秋には「2025 万博」の選考があり、松井一郎知事、吉村洋文市長を支援し、大阪に誘致したいです。ギャンブルは好ましいものではありませんが、「IR 大阪」(統合型リゾート)も必要かもしれません。皆さんの卒業に合わせ、大阪は大きく生まれ変わろうとしています。

さて、本日のこの晴れ晴れとした門出に際し、「安心」、「信頼」、「貢献」という言葉を贈ります。「安心」は卒業後も知識を獲得し、技術を磨き、医師として安心される人になって欲しい。「信頼」は患者の言葉に耳を傾け、優しく聞いてあげてください。最後の「貢献」は医業はお金儲けの手段ではなく、人の役に立つためだということを忘れないでください。

エンゼルスの大谷翔平、日本ハムの清宮幸太郎がオープン戦で苦戦しています。必ず活躍すると確信していますが、あのようなスーパースターでもスランプがあるのです。皆様も、迷いが生じましたら、同窓会の先輩に頼って相談してください。きっと優しく耳を傾けてくれると思います。後輩のためには何でもしてあげたいと卒業生は思っています。

皆さんの未来は光り輝いています。自信をもって船出をしてください。

本日は誠におめでとうございます。